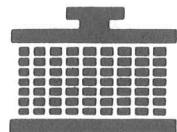


グループ

**4**

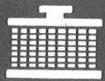
クーリング  
システム

# ASTRON



概 要	4-2
クーリング システム	4-3
ファン・ファン ベルト	4-4
ファン クラッチ	4-4
ウォータ ポンプ	4-4
サーモスタート	4-5
ウォータ テンプレチャ ゲージ ユニット	4-6





## 概要

### 概要

#### 仕様

項目	仕様	備考
ウォータ ポンプ		
形 式	遠心式インペラ形	
駆動方式	Vベルト	
クーリング ファン		
外径 × 羽根枚数 mm	380×7	
ファン クラッチ (A33のみ)		
形 式	サーモ式	
サーモスタット		
形 式	ワックス式	
開弁温度	82°C (88°C)	( )は寒冷地向
全開温度	95°C (100°C)	
バルブ リフト量 (全開時)	8 mm	
ウォータ テンプレチャ ゲージ ユニット		
形 式	サーミスタ式 (水温計用) サイリスタ式 (チョーク インジケータ用) ジープのみ	

#### 締付トルク

単位: kgm

締付箇所	トルク	備考
ウォータ テンプレチャ ゲージ ユニット	3 - 4	

#### ■ファン ベルトの張り調整

ウォータ ポンプ ブーリとオルタネータ ブーリの中間を10kgの力で押したとき7~10mmのたわみとなるよう、オルタネータを移動して調整する。

オルタネータ・グレース ボルト: 1.5 ~ 2 kgm

オルタネータ・サポート ナット: 2 ~ 2.5 kgm

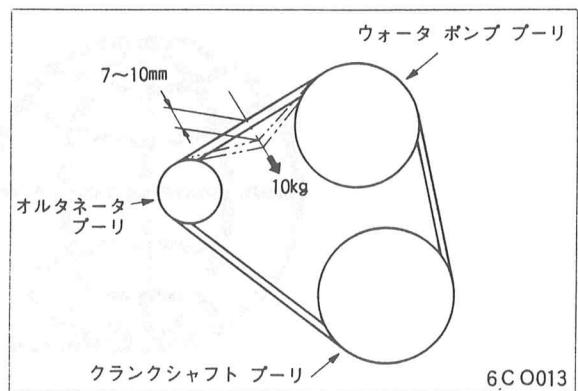


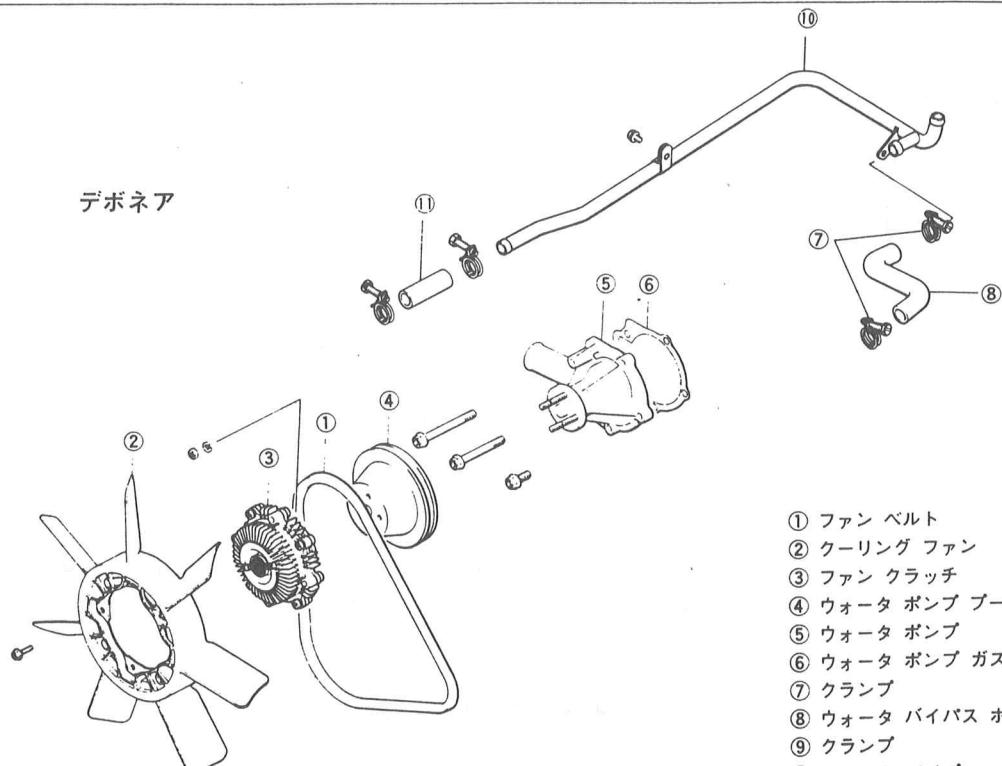
図1 ファン ベルトの張り調整



## クーリング システム

## ■構成部品

デボネア



ジープ

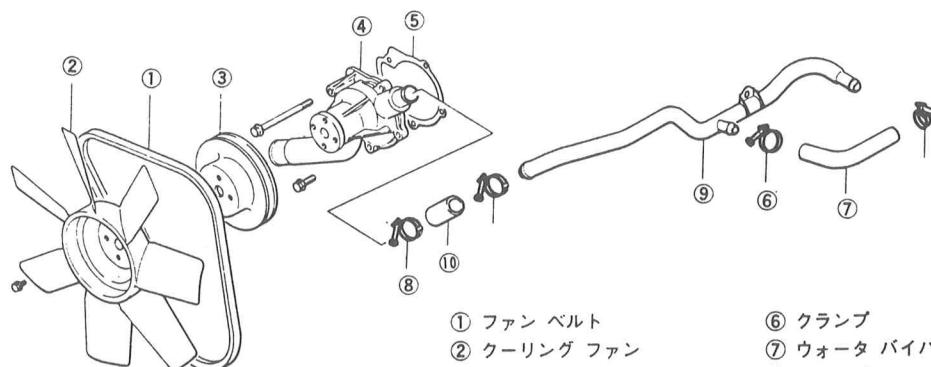


図2 クーリング システム

5C0012



## ファン・ファン ベルト

### ■点 檢

つぎの事項について点検し、不具合のある場合は交換する。

#### 1. クーリング ファン

- ファン各部のき裂又は、損傷。

#### 2. ファン ベルト

- ベルトの伸び。
- 損傷、き裂又は、はく離。

### ■取 付 け

- (1)ウォータ ポンプ プーリ、ファン クラッチ及びクーリング ファンを取付ける。
- (2)ファン ベルトを取付ける。
- (3)ファン ベルトの張りを調整する。

## ファン クラッチ(デボネア)

### ■点 檢

つぎの事項について点検し、不具合のある場合は交換する。

- ベアリング シール部からのオイル漏れがないか

点検する。

- 異音、回転不円滑及びベアリングの焼付きがないか点検する。

## ウォータ ポンプ

### ■点 檢

つぎの事項について点検し、不具合があった場合はウォータ ポンプ アセンブリを交換すること。

- 水漏れの有無。
- インペラ及びシャフトの回転。円滑に回転し、異音がないこと。
- ポンプ ボディ 各部のき裂の有無。

### ■取 付 け

- (1)ウォータ ポンプ アセンブリを取り付ける。ガスケットは新品を使用すること。
- (2)クーリング ファン、ウォータ ポンプ プーリを取り付け、ベルトの張りを調整する。



## サーモスタッフ

### ■点 検

- ・室温状態で少しでも開弁しているものは交換する。
- ・外観がいちじるしく変形、損傷あるいは破損しているものは交換する。
- ・容器に水を満してサーモスタッフを沈め、かくはんしながら水温を上昇させバルブの開き始め温度及び全開時のバルブ リフト量を点検する。ワックス エレメント部が破損しているものは、バルブは閉じたままになる。

### ■取 付 け

- (1)サーモスタッフをインレット マニホールドのハウジング部に入れる。サーモスタッフのつばがインレット マニホールドの座ぐり部に正しくはまり込んでいるか確認すること。

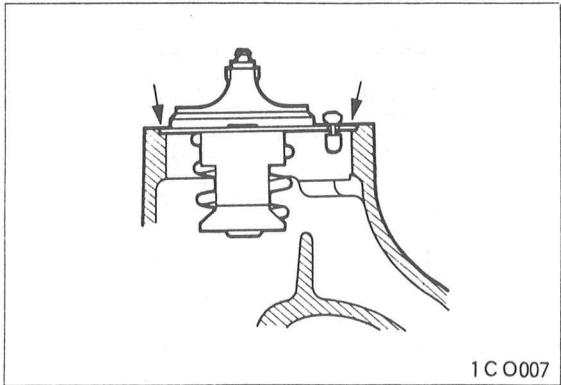


図3 サーモスタッフの取付け

- (2)ガスケット及びウォータ アウトレット フィッティングを組付けボルトを締付ける。
- (3)エンジンを運転し、水漏れがないか点検する。もし、ガスケット部より漏れのある場合は、サーモスタッフが正しく組込まれていないと思われるので点検する。

MEMO

---

---

---

---

---

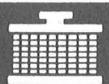
---

---

---

---

---



## ウォータ テンプレチャ ゲージ ユニット

### ウォータ テンプレチャ ゲージ ユニット

#### ■点 檢

- (1) 感温部を水につけ、水温を上げながら抵抗値を計測し、規定値をいちじるしくはずれる場合は交換する。
- (2) エレメント1の抵抗値はⒶ端子とボディ間、エレメント2の抵抗値はⒷ端子とボディ間で計測する。

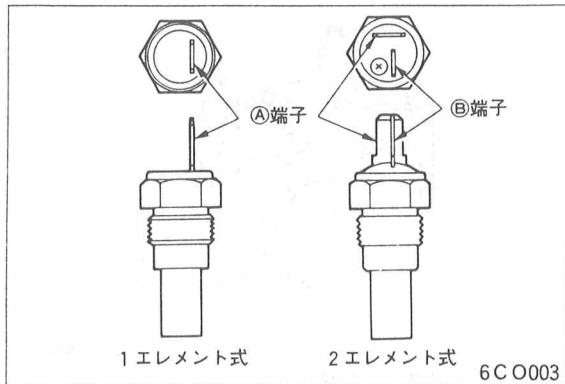


図4 ゲージ ユニットの点検

単位: Ω

項 目	標準値	
エレメント1の抵抗値 (水温計用)	115 °C	23.8
	70 °C	104

#### ■取 付 け

- ゲージ ユニットは規定のトルクで締付け、コネクタを確実に差し込むこと。
- 有効ねじ部に使用シール剤 ヘルメシール H 1 又は、スリー ボンド 1104-C を塗布する。

MEMO